

福知山環境会議幹事会議事録

第1回（令和2年6月22日（月））

出席者：田倉、土田（真）、森田、芦田、田村、大槻、足立、土田（崇）、
中尾、本多（傍聴希望）、井上（和）、井上（義）、小牧、岩木、
梅田、水口

●報告事項

・令和2年度の体制（別紙参照）

・環境月間の取り組み（両丹日日新聞掲載、図書館展示）梅田より報告

環境月間特集と題して、5月30日の両丹日日新聞記事に福知山環境会議について掲載された。また、福知山市立図書館で行われているクールチョイス企画展（エシカルや食品ロスに関するパンフレットを配置）についても記事として掲載された。

・由良川・里山PJ（土田（崇）氏より報告）

新型コロナウイルスの影響で整備活動は行うことが出来ていない。

昨年度に引き続き、今年度も一般社団法人近畿建設協会の「地域づくり・街づくり支援事業」補助金を活用できることとなった。

・ゴーヤ先生による広報活動PJ（土田（真）氏より報告）

新型コロナウイルスの影響でゴーヤ先生は活動できていない。感染症対策に関するチラシを作成した。またYouTubeで手洗いの動画をアップし、福知山環境会議や福知山市魅力を合わせて広報した。YouTubeでみどりのカーテンの育て方を滋賀県彦根市にあるビバシティのビバッチェくんとともに広報している。

・みどりのカーテン実施率日本一PJ（土田（真）氏及び水口より報告）

今年は育苗を福知山高校三和分校に依頼をした。新型コロナウイルスの影響もあり、苗の段取りなど例年と比べると変更点が多く、団体会員の方など迷惑をかけてしまい、申し訳なかった。今年からエスペックの環境管理室は神戸に移動になり、今年度のゴーヤの苗は福知山工場に勤務している大槻さんがすべて管理され頑張ってくれた。市民の方からも依頼が多く、今年は追加で25日に1,200苗ほど環境会議に渡せる予定である。

今年の配布数について、ゴーヤ 2,747 苗、へちま 1,483 苗を現時点で配布済み。今後、まだ配布できていない市民の方等に配布を続ける。

・生きもの調査PJ（大槻氏より報告）

6月20日（土）の午前9時から10時30分までササゴイ営巣地の保全活動を「FAヤマセミの会」8名で実施した。昨年秋の強せん定により、今年は2本の街路樹でのみ営巣しているのが確認できた。次回実施時期については、様子を見ながらその都度決めていく。同日、午後1時30分から3時まで、三段

池ビオトープの整備活動を「福知山市自然科学協力員会」9名で実施した。

今年度は、新型コロナウイルスの感染リスクを鑑み、一般市民対象の水生生物観察会は中止とした。次回の整備は7月18日（土）午後1時30分～3時に実施する予定。

・福知山の自然遺産体験PJ（大槻氏より報告）

新型コロナウイルスの感染リスクを鑑み、体験ツアーについては、秋以降に開催する予定。今年度は由良川堤防・河川敷の外来種をテーマにする。
→幹事会の場において、由良川・里山PJの土田（崇）氏より意見があり、明智藪整備の活動とコラボしてツアー等を実施する方向で計画を進めていくこととなった。

●協議事項

・令和2年度代表、副代表、監事の互選について（事務局より説明）

福知山環境会議の会則では、代表、副代表、監事は幹事会において互選することとなっている。今年度については、現在の体制（田倉代表、土田真副代表、井上副代表、山本監事）から変更なく進めていくことで決定した。

芦田氏より、幹事についても、幹事会の場で総会より前に承認を得ておく必要があるとの意見があり、今回の幹事会出席者に確認を取ったところ、現在の幹事メンバーで運営していくことで問題ないことを確認した。

・令和2年度環境会議事業計画（案）及び予算（案）について（事務局より）

以前の幹事会で資料をお配りしている。計画等に修正点等があれば、事務局の担当に連絡をお願いしたい。最終原稿（案）は総会前の幹事会でお示しし、微調整を行って、総会を迎えるように計画している。

・新型コロナ感染防止対策徹底による活動実施について（事務局より説明）

ソーシャルディスタンスの確保、手洗い消毒、マスクの着用、事前の健康チェックなど新型コロナウイルス感染への対策を講じたうえで、活動実施をお願いしたい。

・令和2年度定期総会について（事務局より説明）

提案として、時期は8月、内容としては、定期総会後にNPO法人環境市民さんによる講演会をしてもらうのはどうかと考えている。この後にも説明させてもらうが、第2期福知山市環境基本計画中間見直しを今年度することにしており、その中で以前からお手伝いをしていただいている環境市民さんに今回もアドバイスをいただけないかとお会いして、依頼したところである。その中で講演会についても、了承はいただいている。内容は「海洋プラスチック問題、気候変動、SDGs」の3つくらいが案としてある。

→各幹事から、実施することについて、YouTube等で配信するなどコロナウイルスの事も考え、密にならないように実施できればよいとの意見があった。

YouTube 等の配信映像を見ることができない人のために、市民交流プラザにモニターを設置するという方法も提案された。

・みどりのカーテン実施率日本一 PJ に係る実施率調査等について（事務局より）
実施率調査について、調査対象範囲は昨年と同じにして比較検証することで進めていくことに決定した。調査の人員確保については、みどりのカーテン自慢コンテストで「匠」（自慢コンテストにおいて、最優秀賞1回、優秀賞複数回を受賞された方）に認定されている方に依頼する、新聞広報で協力してくれる人を集める、地域公民館の館長経由で協力してくれる人を集めるなど、早めに取り組むようにしていくこととなった。みどりのカーテン自慢コンテストについては、8月31日を応募申込期限と設定し、広報していることから、8月の幹事会を31日に実施し、幹事会後に幹事の皆様に審査をお願いしたいと考えている事を説明した。

・各プロジェクトの概要及び実績表（2019年度版）について（芦田氏より説明）
各プロジェクトの概要と昨年（2019年）度の目標及び実際の活動内容などを記載した表をお配りした。自分たちの活動に対しての気づきにつながると思うので、今年度の活動をするうえで、参考にしてもらえればと思っている。
また、廃食用油の回収を環境会議で行っていると思うが、それは再生可能エネルギー推進運動プロジェクトでされていて、現在もされていると思う。お配りした表では実績なしとなっているが、記載するべきものだと思う。もう一点、ペットボトルのキャップ回収もされていると思うが、そのこともどこか該当するところに記入すればよいと思う。

●その他

・第2期福知山市環境基本計画中間見直しについて（事務局より説明）
今年度から6年目の後期に入っていくが、指標に対して、どこまで成果があるのかを比較して、今後どうするか見直しを行うこととしている。NPO 法人環境市民の方にもお手伝いをさせていただきたいということで話を進めている。事務的などところ（資料の整理など）はコンサルタントにお願いするが、環境市民さんにアドバイスをいただきながら、第2期環境基本計画の中身の評価や見直しをするのは幹事を中心とした環境会議のメンバーであるので、御協力をいただきたい。新型コロナの影響でスケジュールは押しているが、年度内には見直しを完了したいと考えているので、調整しながら進めていきたい。
幹事会とは別に中間見直しについて協議する会を設ける必要が出てくる可能性もあるので、御協力をお願いしたい。

・令和2年度京都府環境保全功労者表彰について（土田（真）氏より）
エスペック株式会社が令和2年度京都府環境保全功労者として表彰されることが決定した。選ばれた理由としては、みどりのカーテンの普及啓発活動をはじめ、地域（教育機関など）で環境教育を行い人材育成に尽力したこと、また

福知山環境会議の会員として取り組んだことも評価されている。環境会議での活動が CSR 活動として認められるので、会員募集を行う際にも広報していきたい。

●今後の活動について

7/24（金・祝）明智藪整備（9：00～15：00）明智藪

※福知山環境会議メンバーのみで整備活動を実施する予定。参加希望者は事務局まで御連絡ください。

→その他各プロジェクトで検討いただき、決まり次第お知らせする。

●その他（意見など）

・意見等があれば事務局まで御連絡をお願いいたします。

●次回幹事会開催予定日

7月29日（水）午後6時30分から

環境パーク リサイクルプラザ2階 会議室

